

良い演奏をひき続き聴かせてくれることになった。
十一月十八日(土)は、近藤正典氏の演奏である。

★一九七八年度手工弦楽器展

十一月二十二日(水)～二十四日(金)にかけて、協会創立二十周年記念楽器展が開かれる。ところは、野口英世記念会館において、AM10時、PM8時三十分までである。

出品者は、ギター正会員より井田英夫、今井勇一、剣持良明、河野賢、佐藤真比古、桜井浩一、田村満、堤謙光、野田公義、野辺邦治、野辺正二、星名久夫、星野良充、渡辺精次、渡辺広明等である。他に準会員三名、非会員十三名である。非会員の中には、加納木魂、茶位幸男、稲葉征司、芳弘らの作品を見ることが出来る。

さて、ただ楽器を置くだけでは、参集の足もにぶるだろうというわけではないが、ギター演奏を二十二日三時から五時にかけて渡辺範彦氏が受け持つてくれている。リニエトはその後の五時から五時三十分まで角田隆氏が受け持つてくれている。たぐさんのギターを見て、そして試奏をしてくれるのを聴くわけだが、いろいろな製作者のギターを手にとれる喜びはまたたくべつものだろう。

り。詳しくは、03(591)4970 日本弦楽器製作者協会まで問合せ下さい。

★第四回学生ギターコンクール

要綱決定

毎年年末になると開催される学生ギターコンクールもすでに第四回目となる。今回の特徴は、ジュニア・クラスとシニア・クラスの二つに分けたことである。すなわち、中、高校生と大学生クラスということになる。主催は、学生ギターコンクール事務局と独立され、協賛にGLC(銀座レスナーズクラブ)があたる。詳細は左記の通りである。

- 参加資格 中・高・大学生である
- 第一次予選 十一月十九日 二十日、於 銀座ミュージック、ビルド・神田音楽センター
- (課題曲) 自由曲十分以内一曲
- (審査員) 伊東福雄 津田昭次 他
- 第二次・本選 五十四年一月二十一日 PM2:00/8:00
- 於 銀座ヤマハホール
- (課題曲) 一次予選終了後発表(本選課題曲)
- 自由曲十五分以内の間
- (ただし三曲以内の演奏)
- (審査員) GLC会員 名誉会員
- 参加料 無料
- メ 切 五十二年十一月二十五日

・問合 日本楽器・楽器売場 03(572)3131

★武蔵野音大より朗報!

武蔵野音楽大学では、外来音楽家による演奏や講座、また学生による演奏会を企画し、教育成果の向上を努めているという。それを一般音楽勉強者等にも機会を与えてくれるという。ギターファンとしてもたいへん良い話であろう。左記の通りのスケジュールで公開してくれる。

- △学生によるソロコンサート 11・9(木)PM3:30 入場無料 入間校舎オーケストラスタジオ
- △特別課外指揮法発表会 11・11(土)PM1:30 入場無料 江古田校舎モーツァルトホール
- △レグナ・スメンジャカ ビアノ公開講座 11・16(木)PM3:30 入間校舎オーケストラスタジオ 11・18(土)PM1:10 江古田校舎モーツァルトホール
- △入間ウインドアンサンブル演奏会 11・20(月)PM6:00 要入場整理券 入間市市民会館
- △オペラコース オペラアンサンブル発表会 11・25(土)PM1:10

江古田校舎モーツァルトホール

入場無料

△管弦楽団 合唱団演奏会

12・8(金)PM6:30 ¥700
入間市市民会館
12・9(土)PM7:00
(携) ¥1,000 (自) ¥700
江古田校舎モーツァルトホール

03(992)1121
内線36 江古田
0429(32)2111
内線242 入間校舎

●シエーファ氏赴く

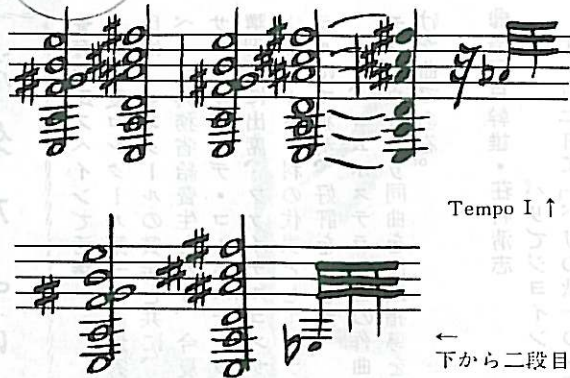
日本でも再三演奏を聴かせてくれたシエーファ氏が最近亡くなった。

★芳志戸幹雄氏帰国

昨年より渡西中であつた同氏は九月十八日帰国した。

★荒川孝一氏帰国

一九七四年三月より、国立ケルン音楽大学でシエーファ氏教授にルネッサンスリニエト、バロックリニエトを学び、一九七五年三月よりランゲルフェルト市及びロイスラート市立音楽学校にてギター科講師となり音楽大学リニエト科を卒業デュプロマを得て、この程、帰国した。



☆本選課題曲の修正
第二頁目の第七段目、Tempo Iと書かれた所から三小節目の第一拍までの和音は次のように訂正する。さらに下から二段目、二小節目第三拍目を次のように訂正する。

今月のレコード

◎ルネッサンス・リニエト音楽の魅力
バルター・ゲルビッチの演奏でこ

の程ハルモニア・ムンデイ(ティチク)より発売された。

この盤には、ルネッサンスを代表するドイツの作曲家十人をあげてありそれ等の作品をリニエトの持つ美しい響きで聴かせてくれている。ギター愛好家にもこの盤は、必携といつても良いのではないだろうか。ルネッサンス時代の音楽を知るには十分の盤である。ドイツという一つの国の作曲家作品であるが、古いものも勉強に何等かの形で役立つことだろう。

第一集が発売されたので第二集に期待が持てる。(RUX-13133 ¥2,500)

◎フルートとギターの盤

モラートより発売されるこの盤はクリスチャン・ラルデのフルートとトウリビオ・サントスのギターによる重奏レコードである。日本では、ランバルとラゴスニツクのコンビによるレコードを知っている。また、この秋、ラリーと鈴木一郎のコンビの演奏も聴くことができた。今度は、ラルデとサントスの演奏を聴くことができる。演奏曲目は、イベールの「間奏曲」

コンサートのお知らせ
鈴木美恵を聴く会
(ギターのささやかなコンサート Part15)
〈曲目〉 スペイン組曲：南のソナチネ 他
1978.11.9(木)PM7:00 ¥500
大仏次郎記念館サロン
横浜ギタースクール
山口昭三ギター研究所 TEL (045) 312-6502

第13回
ギターの調べ
(大畑ギター室内合奏団定期公演)
——特別出演—— 七戸国夫(ギター・ソロ)
ギター協奏曲イ長調/ビバルディ トリツトトラッチボ
ルカ/シュトラウス チェロ組曲よりロンド/バッハ
日本語謡メドレー 他
¥1,200
神奈川県立労働会館ホール (横浜・石川町駅前)
12/9(土) P.M. 7:00 開演 ☎0427-44-2042
OG企画

ギター、マンドリンファン集まろう!
ギター科・マンドリン科
毎週金曜日 PM1時～8時・日曜日 PM1時～5時30分
指導・古川律由・福井敏子・藤本都美子
西武タカツキショッピングセンター4F
西武タカツキ文化教室
(国鉄高槻駅前・TEL 0726-83-1165)

ビラロボスの「お花わけ」、イギリス民謡の「グリーン・スリーブス」、ヒナステラの「忘却の木歌」、ペプツシュの「ソナタ」、ヘンデルの「ソナタイ短調作品一〇四」シャイドラーの「ソナタニ長調」以上である。(エラート ERX12384 ¥2,500)

◎ジョン・ウイリアムス

SOCMI一七が新盤に
ジョンのギターリサイタルと名を打ったレコードが新盤になった。入手されていないジョンのファンの方には耳よりな話だ。(CBSソニー 三三ACI601 ¥2,300)

◎マンドリンファンに贈る

J・アネツタのレコード
C・シモーネ指揮のイ・ソリスティ・ベネティの演奏でジュゼッペ・アネツタのマンドリンによるレコードが発売された。

演奏曲目は、ベルコレージ・ジュリアーノの「マンドリン協奏曲変ロ長調」である。(エラート四五E15 ¥2,800)

◎名曲ギヤラリー四八

アリリオ・ディアスの独奏で、アルヘンタ指揮、スペイン国立管弦楽

団の伴奏による名曲盤である。ギター名曲全四曲が収録されている。(コンビア OCI7197 ¥1,300 限定発売)

海外だより

★藤垣氏スペインで活躍

昨年度コンクール第一位藤垣秀雄氏は、コンクールの賞金と共に、スペイン外務省給費生となり、今夏のサンチャゴ・デ・コムボステラの講習会に出席、ファイナルコンサートではギター科の代表としてカテドラルにて独奏、好評を博した。
なお、コムボステラ組曲の作曲者モンボウ氏より同曲を直接指導を受けた曲である。

※芳志戸幹雄・荘村清志

パリでジョイント
十一月二日に「バリの秋」の一環として行なわれる。この演奏会の全体の音楽監督は武満徹である。
会場は、パリ・ソルボンヌ教会(ソルボンヌ大学内)にである。芳志戸氏は九月に日本に帰り、その後十月十六日にリサイタルを終えこのコンサートのために渡欧している。

プログラム
三善晃/エビターズ
野呂武夫/コムボジョン
毛利蔵人/アナモルフオス
武満徹/フォリオス
野呂武夫/ミート
三善晃/プロターズ

(二重奏)

(荘村)

宮本徳二氏十弦ギターで活躍

フジテレビとネット局、協力のもとに制作されている「ドキュメント日本人」という、全国放送三十分番組に宮本徳二氏が出演した。八月二十九日から九月八日まで、スペインマドリッドにおいて取材、撮影され十月十五日フジテレビをキーステーションに放送された。

彼は一九七四年、当ギター連盟主催のギターコンクールで一位になり一九七五年に渡西、その後三年数ヶ月に西になるが、その間、イエベス氏に師事し、現在も師のもとで十弦ギターを勉強中である。この番組は六年前から開始され、上半期は国内下半期は海外という構成で、毎日曜日、朝の九時半から放送されている番組である。企画の主旨は、外国で

生活している日本人が、何を目的に何を考え、生活しているかを探るとだそう。宮本氏の場合は、十弦ギターの勉強に大きな比重が置かれるのはもちろんだが、その他、日常生活などもとり上げられ、今年一年間滞在された芳志戸幹雄氏との酒を飲みながらの談義などが入り、日本人の海外留学の様子を知ることができた。芳志戸氏は宮本氏の先輩であり、また飲み友達でもある。

宮本氏は、本年末に帰国、来年十弦ギターで、十弦ギターのために編曲したものを中心に、リサイタルを開く予定であるそう。

◆お詫び

先月号十二頁下段左より一四行は十二行目のあとでお読み下さい。

月刊 ギターニュース
昭和五十三年十一月一日発行 第87号
発行所 社団法人日本ギター連盟
〒164 東京都中野区中野 二ノ二ノ四
TEL03(三三三)一八一九
発行責任者 荘村 正人
編集責任者 宇賀神 昭
印刷 大川印刷所
定 価 二〇〇円



JOSE ORIBE

世界で最も美しく完成されたギター
と言え、ホセ・オリベ(カリダッド・スプレマ)
でしょう。演奏者にとって心憎いばかりの
配慮が楽器のすみずみまで感じられ、澄んだ
伸びのある音色を聴けば、これぞ手工芸の極み
と思われ。また、これぞ手工芸の極みと思われ。

CALIDAD SUPREMA
レッド・ウッド ¥1,000,000
スブルース ¥1,000,000



東京都台東区上野5-6-11 合田ビル110 TEL835-4141

